



# 平成26年3月期 決算説明資料

(平成25年4月～平成26年3月)

平成26年5月30日



JASDAQ

証券コード:1905



## 平成26年3月期 決算の概要

平成27年3月期 業績見通し

# 連結損益計算書の概要

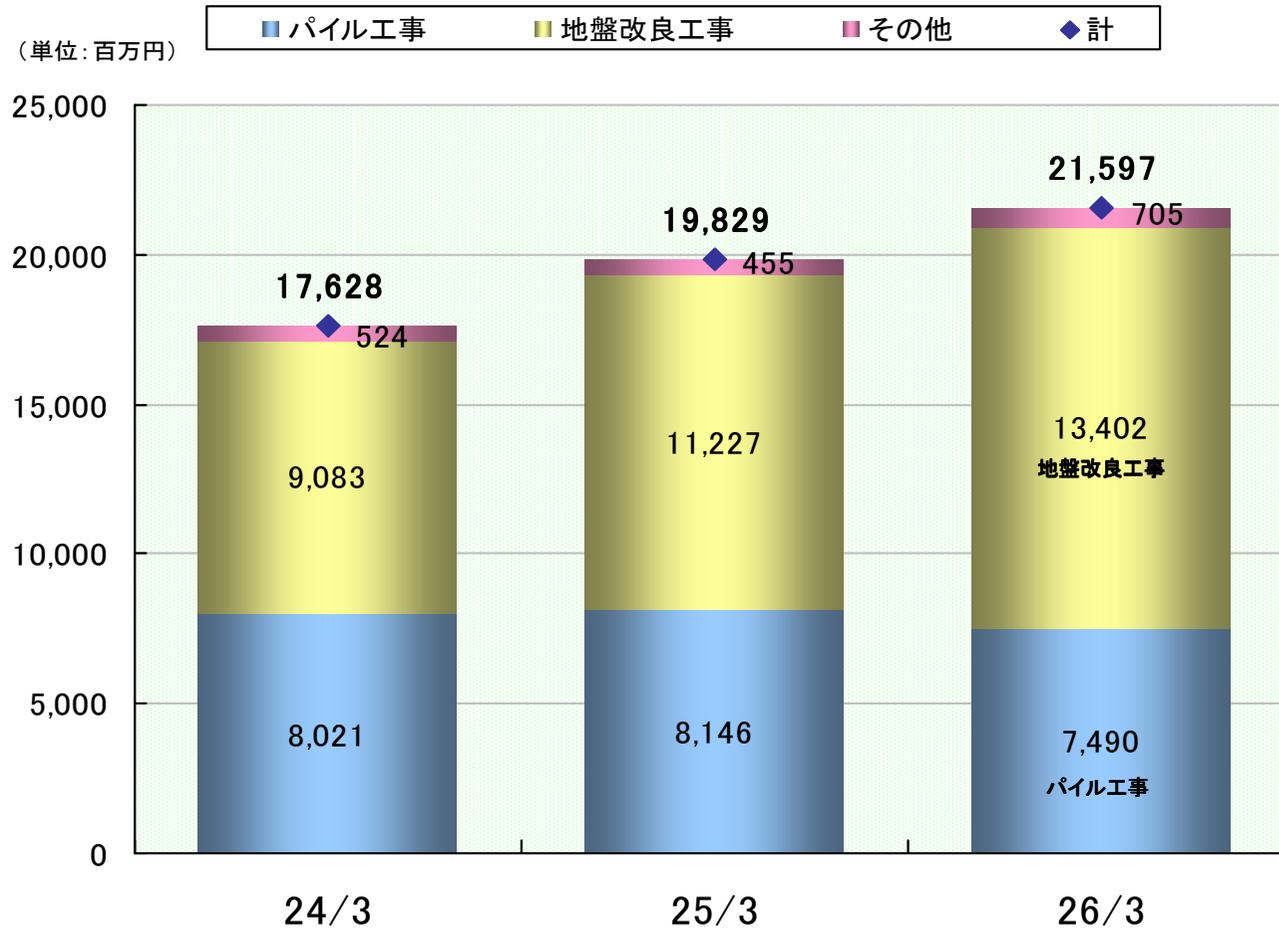


- 道路橋脚の増加に加え、昨年に引き続き大型物流倉庫、工場、医療関連施設や、災害復旧による住宅関連工事などの売上貢献により増収
- 工法別では、当社主要工法の「テノコラム工法」、「ATTコラム工法」や「ガンテツパイル工法」が対前年比で大幅な伸びを見せたことなどにより増収
- 「国内建設事業」の売上高が増加したことに加え、利益構造が異なる「コンサル事業」が堅調に推移し、「海外建設事業」や戸建住宅向けの「PP工法」も着実な成長を遂げたことにより増益

(単位:百万円)

	25/3期	26/3期	前年同期比	
<b>売上高</b>	<b>19,829</b>	<b>21,597</b>	<b>+1,767</b>	<b>+8.9%</b>
売上原価	17,338	18,303	+965	+5.6%
<b>売上総利益</b>	<b>2,491</b>	<b>3,293</b>	<b>+802</b>	<b>+32.2%</b>
販管費	1,946	1,982	+36	+1.9%
<b>営業利益</b>	<b>544</b>	<b>1,310</b>	<b>+765</b>	<b>+140.5%</b>
<b>経常利益</b>	<b>644</b>	<b>1,394</b>	<b>+749</b>	<b>+116.4%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>498</b>	<b>521</b>	<b>+23</b>	<b>+4.7%</b>

# 売上高の推移(連結)



# 連結貸借対照表の概要

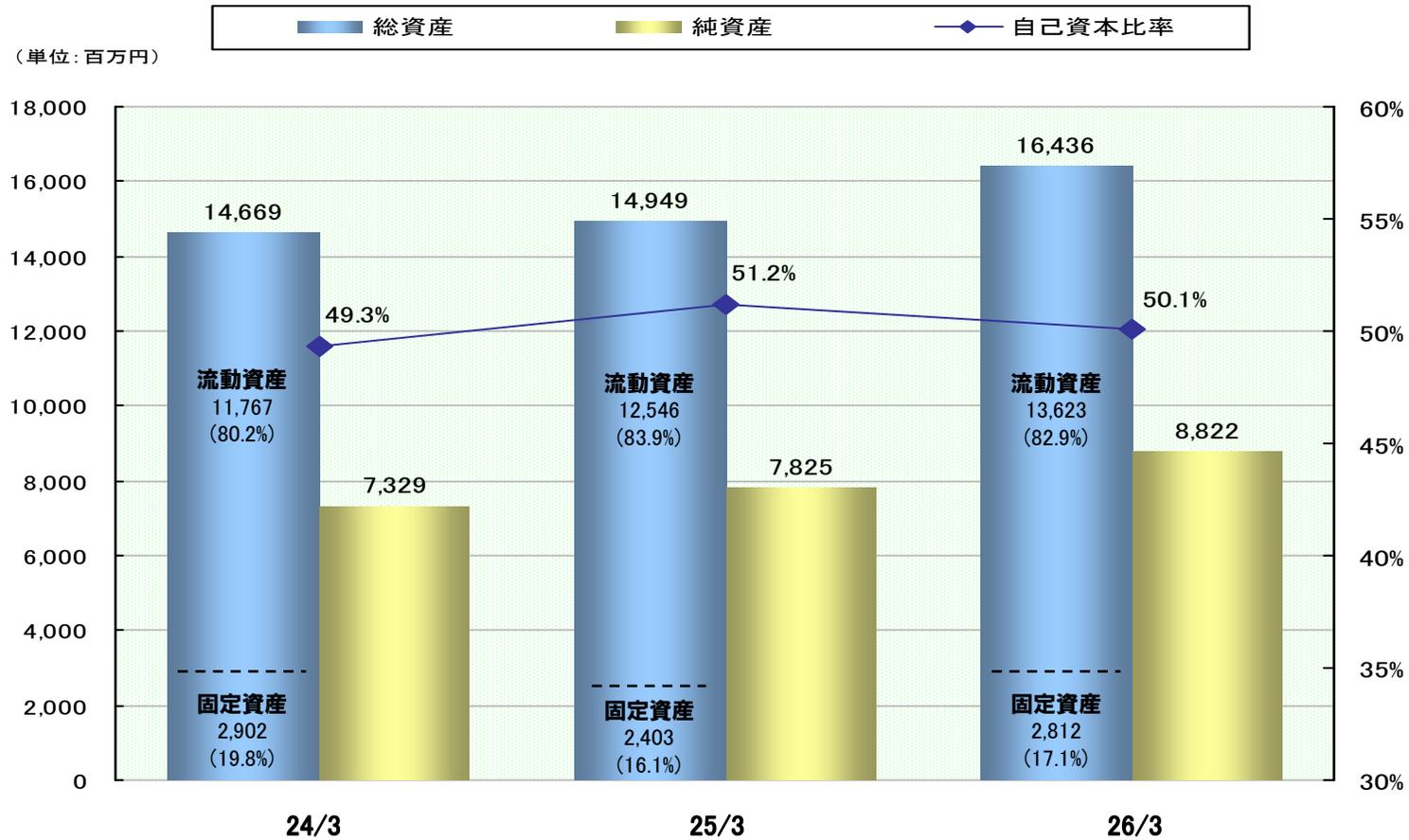


- 資産: 前期末の大型工事債権の回収を含め、営業C/Fの大幅改善により現金預金が増加
- 負債: 有利子負債が減少する一方で、仕入債務や未払法人税等が増加

(単位:百万円)

	25/3期末	26/3期末	前期末比	
流動資産	12,546	13,623	+1,077	+8.6%
固定資産	2,403	2,812	+409	+17.0%
<b>資産合計</b>	<b>14,949</b>	<b>16,436</b>	<b>+1,486</b>	<b>+9.9%</b>
流動負債	5,432	6,277	+845	+15.6%
固定負債	1,691	1,336	△355	△21.0%
<b>負債合計</b>	<b>7,124</b>	<b>7,614</b>	<b>+489</b>	<b>+6.9%</b>
<b>純資産合計</b>	<b>7,825</b>	<b>8,822</b>	<b>+996</b>	<b>+12.7%</b>
(自己資本比率)	(51.2%)	(50.1%)	(△1.1ポイント)	—

# 連結貸借対照表の推移



# 連結キャッシュ・フローの概要

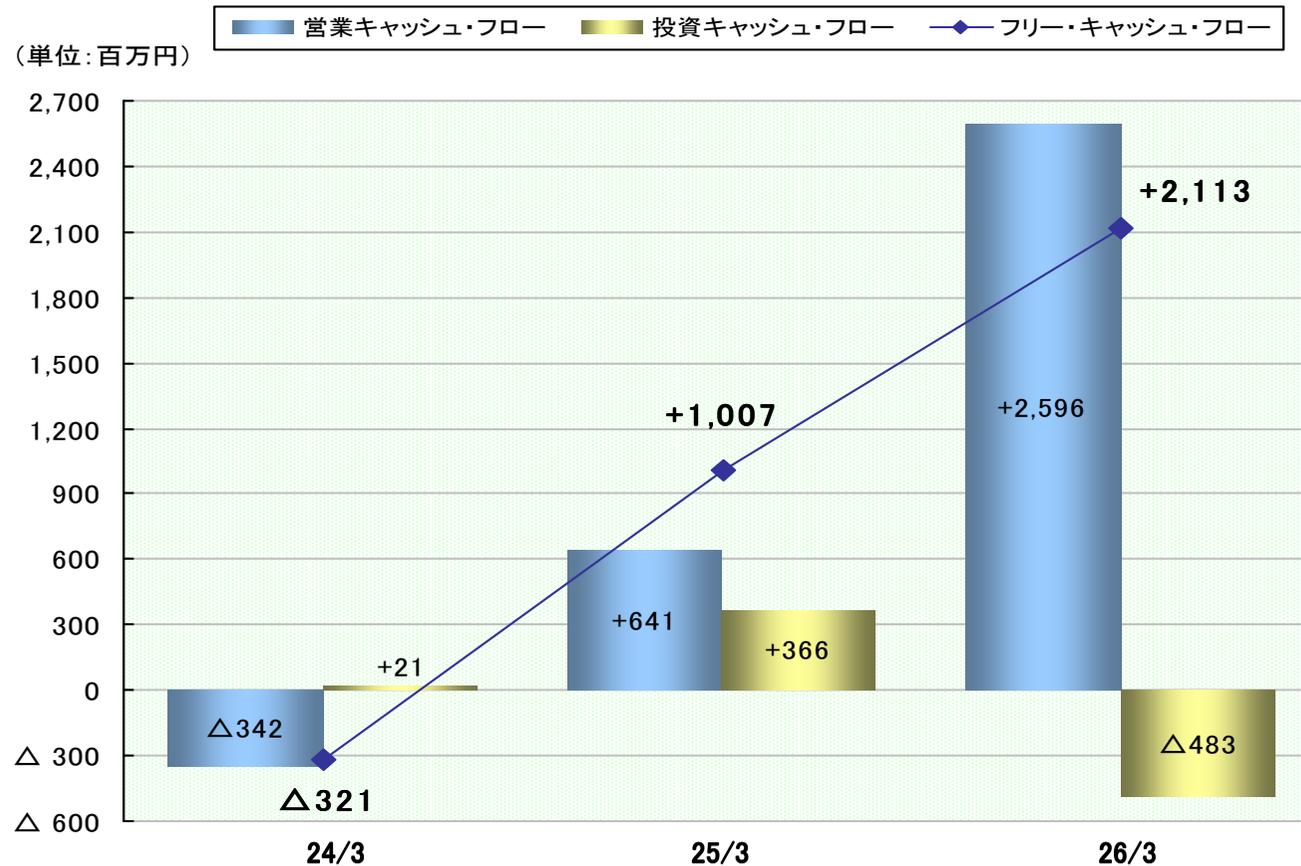


- フリー・キャッシュ・フローの大幅改善により期末残高が増加
- 保有資金は、現行事業の競争力強化と新規事業の創出などに備える

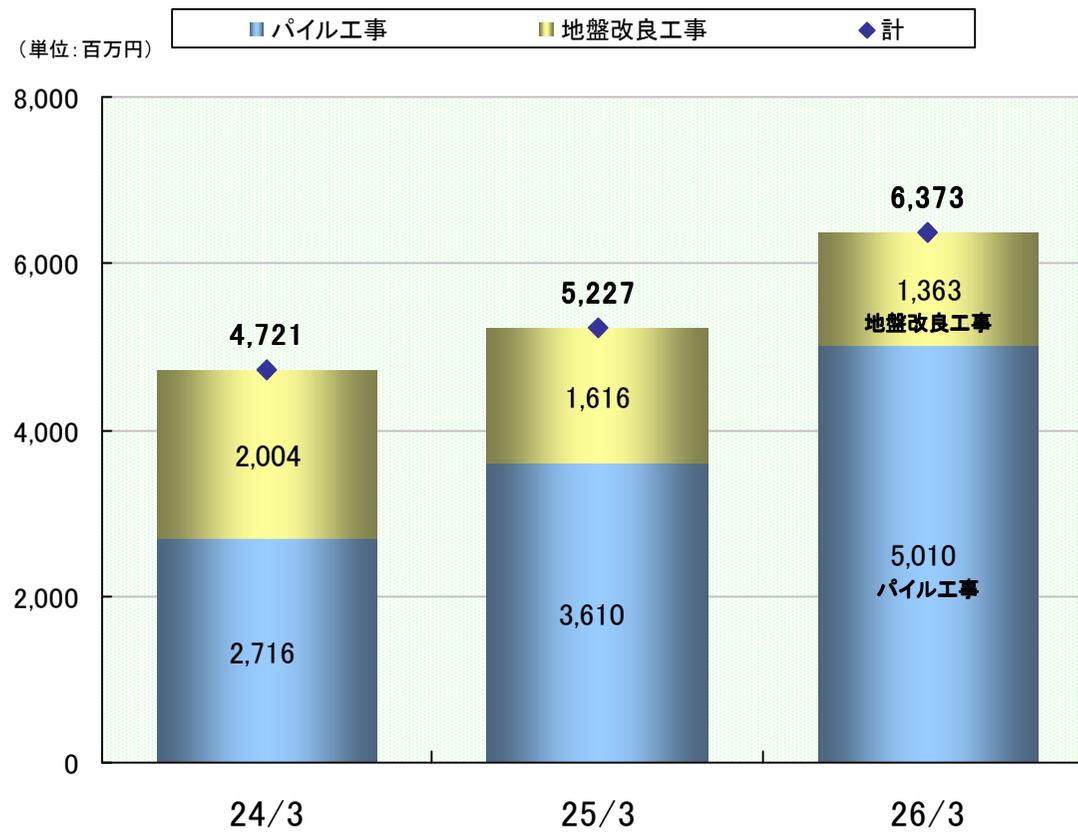
(単位:百万円)

	26/3(当期)		当期の主な要因
		[参考] 25/3(前期)	
営業活動による キャッシュ・フロー	2,596	641	✓ 税金等調整前当期純利益、減価償却費などにより資金が増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△483	366	✓ 有形固定資産の取得による支出などにより資金が減少
財務活動による キャッシュ・フロー	△896	△682	✓ 有利子負債の返済による支出などにより資金が減少
現金及び現金同等物 の増減額	1,224	350	
現金及び現金同等物 の期末残高	6,299	5,074	

# 連結キャッシュ・フローの推移



# 受注残高の推移(連結)



- **パイル工事**  
道路橋脚基礎工事など大型物件の受注
  - ・高速道路各社および国土交通省の道路橋脚基礎工事
  - ・物流倉庫、医療施設等
- **地盤改良工事**
  - ・学校関連施設
  - ・工場
  - ・医療施設



平成26年3月期 決算の概要

平成27年3月期 業績見通し

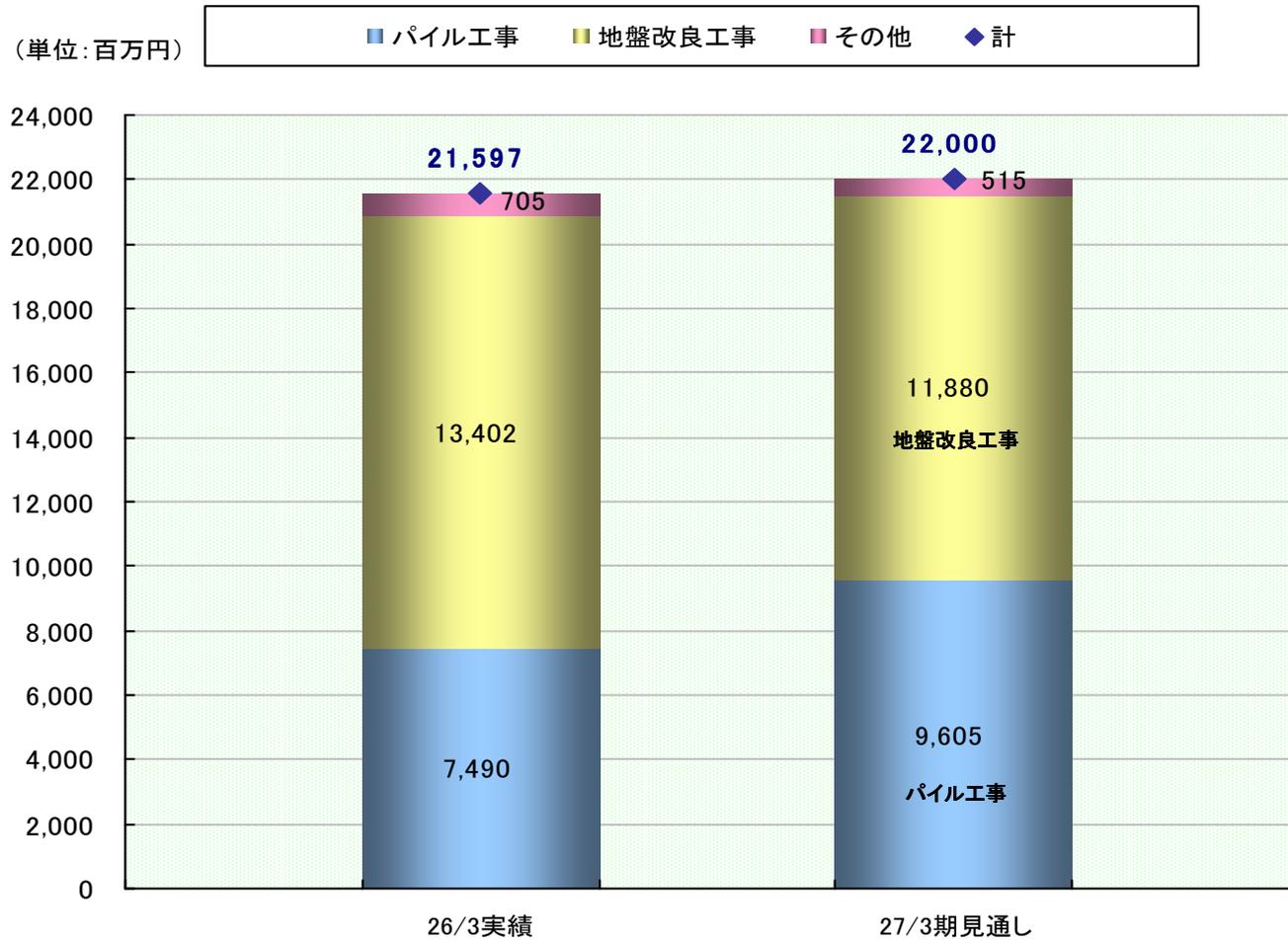
# 平成27年3月期 連結業績見通し



- 大型の道路橋脚などの基礎工事に加え、震災復興や戸建住宅向け地盤補強工事 (PP工法) の需要拡大が見込まれる
- 資材価格や労務費の高騰が懸念されるなか、原価管理の徹底とさらなる原価低減を推し進める

■売上高	《予想》 220億円	26/3期比+4億2百万円(+1.9%)
■経常利益	《予想》 11億円	26/3期比△2億94百万円(△21.1%)
■当期純利益	《予想》 5億50百万円	26/3期比+28百万円(+5.4%)

# 売上高の見通し(連結)



# 投資計画等について(連結)



■設備投資額	《予想》 10億円	26/3期比+3億4百万円(+43.7%) ✓ 老朽化による設備更新、品質・安全の向上を図った設備投資
■減価償却費	《予想》 5億円	26/3期比+1億4百万円(+26.5%)
■調査研究費	《予想》 82百万円	26/3期比+64百万円(+371.1%) ✓ 社会的ニーズに対応した工法や事業領域を広げるための工法開発 ・環境負荷低減や液状化対策 ・工事の品質向上・安全対策 ・戸建て住宅向け地盤補強工法「ピュアパイル工法」の競争力強化

# 会社概要



本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	昭和45年7月
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 徳永 克次
従業員数	連結 397名



ホームページ: <http://www.tenox.co.jp/>  
お問い合わせ先: 総務部 IR担当  
電話: 03-3455-7758

- 当資料は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づくものであります。
- 経営環境の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は記載の予想値と大きく異なる結果となる可能性があります。